

文化芸術によるまちづくり座談会

第2回座談会 文化芸術ホールとまちづくりについて 議論がかわされる

2014年度、町田市は、文化芸術によるまちづくりについて、幅広い視野から意見を求めることを目的として、文化芸術によるまちづくり座談会（以下「座談会」という。）を立ち上げました。

10月24日に第2回座談会が開催され、「これからの町田市と現在の町田市を表象するようなホールをつくれるかどうかが課題となる。」「大規模開発の中でどのよう

なホールをつかっていくのかを考える必要がある。」といった意見があげられ、闊達な議論がかわされました。

最後に座長より「ホールをつくる結果として何が起こるのかまでを考えていきたい。」という、今後の議論の大きな方向性が示されました。

今後、座談会は、年度内に3回開催される予定です。（全5回）



2014年10月24日に第2回文化芸術によるまちづくり座談会が市役所2階市民協働おうえんルームで開催されました。

当日は、石阪市長、有金副市長、高橋副市長と学識者として市川宏雄氏、美山良夫氏、文化芸術ホールの施設管理者として伊藤せい子氏、コンサート等の事業運営者として西茂弘氏の合わせて7名と8名の市民傍

聴者により開催されました。

第2回座談会では、①第1回座談会の論点、②まちのシンボルとしてのホール、③委員による事例紹介(1)、④ホールのあるまち（都市開発の視点）、⑤文化芸術都市を標榜したまちづくり、⑥ホールと地域経済、⑦委員による事例紹介(2)がテーマとして設定され、新

たな文化芸術ホール建設等の将来構想の実現に向け委員による意見交換が行われました。

●議題1「まちのシンボルとしてのホール」

はじめに、「まちのシンボルとしてのホール」というテーマに対して、ハードとソフトの両面からシンボルとしてのホー



第2回 座談会
10月24日（金）

町田市文化スポーツ
振興部文化振興課

〒194-8520
東京都町田市森野
2-2-22
TEL：042-724-2184

ルのあり方や、文化芸術やまちづくりとの関係が話し合われました。「文化」が日常生活の質を高めるものであるのに対し、**「芸術」**は日常を超えた次の新しい価値をつくっていくこうとするものにとらえる必要性が示されました。

その意味での「芸術」を活かして都市空間のシンボルとして機能している例として、茨城県水戸市の「水戸芸術館」と、石川県金沢市の「金沢21世紀美術館」が紹介されました。「芸術」という概念と2つの芸術施設を



水戸芸術館 (出典:公式HP)



金沢21世紀美術館 (出典:公式HP)



かなづくホール (出典:公式HP)

踏まえ、市長は「変化や変革がキーワードになりそう。」という認識を示し、保守的な価値観との整合を考えたいと応答しました。さらに、副市長からは、「日常を超えるシンボルを目指して町田のアイデンティティを考えたい。」という意見が出されました。

また、市民と密に接した運営をしている「横浜市神奈川区民文化センターかなづくホール」を事例に挙げ、横浜市内の大規模ホールとの棲み分けが紹介されました。これに対して副市長は「これからの時代に向けたスタートのような役割を求めると同時に既存の施設等との棲み分けも考えていきたい。」という意見が出され、今後、シンボルとしてのホールを検討するとともに既存施設との関連を検討する必要性が共有されました。

●議題2「文化芸術によるまちづくり、ホールの経済効果」

次に、ホールとまちづくりの関わりについて議



論がかわされました。まちの開発の中でホールを建設する際には、十分にマーケティングを行った上で施設のスペックを考える重要性が指摘されました。さらに、より多くの人に町田の市街地に足を運んでもらうためには、建築的なシンボルにこだわって、まちに人を呼び込むホールという考え方も必要になるという意見が出されました。

続いて、新たにホールができたことで、まちに人が来るようになったという事例が紹介されました。町田駅を利用する多くの人が、ホールがでることによって駅からまちに出て町田を魅力を知り、消費活動を行うことを目指

すことが重要だと指摘されました。東京芸術劇場が開館して以降、約20年をかけて池袋駅東口が変化した事例が紹介され、長期的な視点をもってまちづくりにおけるホールの位置付けを検討していく必要性が共有されました。

近年、都市開発は、ハード偏重から良質なソフトが求められるようになり変化しています。その潮流のなかで町田市が存在感を示すためにも、都市再開発とホールの関係性、駅との立地関係などを考慮しながら、ホールの在り方を今後の座談会の中でさらに議論を深めていくこととなります。



●まとめ

「市民のための文化芸術ホールを検討していくわけだが、より大きなことが期待されていると感じている。町田の文化と芸術を市民が育てていくためのホールなのか、町田市外から多くの人たちが訪れるきっかけとなるホールとなるホールなのか。文化と芸術のバランスにも配慮しながら、それらを全て包括した、町田市民にとって価値のあるホールを検討していきたい。」という座長の総括ののち、第2回座談会が閉会されました。



●次回回の検討内容(予定)
第3回座談会では、「町田市における文化芸術論」をテーマとして、町田市の文化芸術振興に資するホールの在り方を議論します。